

山元一郎 やまもと いちろう 折田學者。明治四十二年九月十四日鹿兒島縣生れ、昭和四十七年七月七日歿（一九〇一七二）。昭和九年京都帝國大學文學部哲學科卒。同大圖書館蔵託を經て、二十一年と命館大學教授、のち同志社大學教授。

著譯書の「コニーチエ」〔昭和十五年六月五日弘文堂書房「教養文庫」〕、  
『コニーチエ』  
譯詩集識られざる神に（譯、昭和十六年十一月二十日弘文堂書房）、  
コミンケルヤンシエロの怖れ―歴史的實存の帕特ス（昭和二十三年一月十日弘文堂書房）、  
ユレルカス著「スビノザリ生涯」（譯編、昭和二十四年六月十五日弘文堂「アテネ文庫」）、  
『文学への招待』（合著・NHK京都放送局編、昭和二十二年十一月一日大阪・創元社）、  
『コトゾの哲学―感性・言語・論理』（昭和四十年八月二十一日岩波書店）等。

